



2014.3.1

事務局 岡谷市長地片間町2-5-5

Tel. Fax 0266-28-9230

ニュース No. 64

記録的な大雪で、あちこちの過疎の村々が孤立しましたが、陸路も鉄道もすべてが寸断され、長野県も文字通り「陸の孤島」となりました。まさか県全体が、すっぽりと陸の孤島になるなんて、思っても見ませんでした。なってみて、はじめて想定外に対する心構えや、対策の不備に気付かされます。

ひるがえって、国内外の情勢をみると、内閣とそれを取り巻く人達の、強引で横暴な手口、権高で傲慢な態度が目立ちます。秘密保護法の強行採決に始まり、集団的自衛権の勝手解釈、靖国参拝や戦後処理にかかわる近隣国との紛争、原発や武器の輸出、新防衛計画策定などなど、中韓のみならず、思いもよらぬ米国をはじめ、世界中からブーイングが高まっています。日本も世界から陸の孤島と、ならないようにしなくてはなりません。

さしものアベノミクスも、経済成長率の伸び悩み、貿易赤字の拡大、物価値上げと低賃金など、あちこちにホコロビが見えはじめました。大企業のおこぼれ政策とか、実体のない経済政策は、いずれ破綻するのではないのでしょうか。しっかり見張っていきましょう

活動と行事の報告

2月15日(土) ビデオ上映会

記録的な大雪のため、各種会合が取りやめになるなかで、この会には20名近くが参加され、伊藤真塾長の明快な憲法論議に元気を鼓舞される思いでした。30分程でしたが活発に意見交換もできました。

◎ (全国)「九条の会」事務局では、秘密保護法、集団的自衛権などの緊迫情勢に際し、2/14日 国会内で記者会見し、昨年のアピール『「戦争する国」づくりに反対』(10/7) (本会ニュース NO.62 同封資料) への賛同者名簿 (有識者 829人) を配布しました。

さらに運動を盛り上げていこうという、「事務局からの訴え」を発表しました。訴えは、別紙資料として、同封してあります。

今後の予定

**3月11日（火）東日本大震災3周年 原発ゼロ☆大統一行動連帯
反原発岡谷集会 ラオカヤ一階 14:00~15:00**

福島原発災害3周年の3月11日、昨年に引き続き、今年も全国の反原発大行動に連帯して、岡谷の集会をひらきます。ご家族友人など一人でも多く、誘い合わせてご参加下さい。（同封チラシ参照）

**4月20日（日）九条の輪学習会 五十嵐仁 法政大教授
諏訪市 生き生き元気館（旧日赤） 13:30~16:00
当面の問題と憲法9条 参加料500円（同封チラシ参照）**

◎ **市民意見広告運動** に例年通り個人参加をお願いします。同封チラシを参考にして、添付してある振替用紙で 4月12日までに2,000円を送金して下さい。5月3日（憲法記念日）の全国紙、地方紙に、反戦、護憲、原発ゼロなどの意見広告を載せます。

去年は「朝日新聞」見開き2面に多色刷りで掲載、賛同金総額は2480万円、賛同者総数は8150人でした。

〈天声人語〉 朝日新聞 2/24日付より転載

天声人語

ロンドンぐらしの失意のなかで、夏目漱石は「自己本位」という言葉にゆきあたった。それまで苛まれていた不安が消え、自分の進むべき道を見いだしたという。「私の個人主義」と題する講演で語っている▼わがまま勝手にふるまうのではない。自分を尊重する以

上、他人も尊重しなければならないというのが漱石の考えだった。個人主義を退治しなければ国家が減びるなどと唱える者があるが、そんな馬鹿なことはあるはずがない、と。このくだりに、いまの改憲論議が重なる▼憲法の核心とされる13条は「すべて国民は、個人として尊重される」とうたう。自民党の改憲草案はこれを「人として」に変える。「個」をなぜ削るのか。草案づくりに携わった磯崎陽輔・首相補佐官のホームページには、当該条文が「個人主義を助長してきた嫌いがあるので」改めたところがある▼おそらく自民党内に昔からある声を踏まえたのだろう。いまの憲法こそ日本社会に利己主義をはびこらせ、「家」を壊してきた元凶、という議論だ。とするなら、たった一文字の削除が意味するところは重大である▼東京都の舛添要一知事は新著でこれを暴論と断じた。個人の対極には国家権力があるが、「人」の対極にあるのは動物であり、憲法論議とはほど遠い言葉だ――。権力を拘束し、人権と自由を守る憲法の役割からすれば、確かにここは個人でなければならない▼漱石の講演から1世紀。草案前文が尊ぶ「和」に個人が埋もれてしまう事態を危ぶむ。